開発環境構築手順書

**１．Node.jsのインストール**

①　「推奨版―Windows Installer」を押下し、ダウンロードする。（v18.14.0）

→　[ダウンロード | Node.js (nodejs.org)](https://nodejs.org/ja/download/)

　　もしくは社内サーバーよりダウンロードする。

　　　→　<\10\_日本ソルテック\99\_開発環境> node-v18.14.2-x64.msi

②　Node.js Setup（子画面）より「Next」「Finish」を押下し、インストールを完了する。

③　cmdより以下を実行し、バージョンを確認する。バージョンが表示されればOK！

　 ＞　node --version

**２．プロジェクトの作成**

　　　①　任意の場所にフォルダを作成する。　　例）C:\Workspace\project

　　　②　①直下で以下を実行し、プロジェクトを作成する。

　　　　　　＞　npx nuxi init [project-name]　 　　例）[project name] = soltec

　　　③　②で作成したプロジェクト（★）直下で以下を実行し、ファイルが生成されたことを確認する。

　　　　　　＞　dir

**３．npmのインストール**

　　　①　★直下で以下を実行し、npmをインストールする。

　　　　　　＞　npm install

**４．起動の確認**

　　　①　VSCodeで★のフォルダを開く。

　　　②　ターミナルを開き、以下を実行し、サーバーを起動させる。

　　　　　　＞　npm run dev

　　　③　ブラウザを開き、http://localhost:3000/にアクセスする。

　　　④　「Welcome to Nuxt!」のページが表示されればOK！

**５．TypeScriptのインストールと設定**

　　　①　cmdより★直下で以下を実行し、TypeScriptをインストールする。

　　　　　　＞　npm install --save-dev @nuxt/typescript-build @nuxt/types

　　　②　VSCodeで「nuxt.config.ts」を開き、以下の通り設定する。

export default defineNuxtConfig({

  typescript: { strict: true }

})

**６．Vuetify3のインストールと設定**

　　　①　cmdより★直下で以下を実行し、Vuetify3をインストールする。

　　　　　　＞　npm install --save-dev vuetify@next sass

　　　②　VSCodeで★直下に「plugins」フォルダを作成し、その中に「vuetify.ts」ファイルを

作成する。

　　　③　「vuetify.ts」を開き、以下の通り設定する。

import { createVuetify } from 'vuetify'

import \* as components from 'vuetify/components'

import \* as directives from 'vuetify/directives'

import { defineNuxtPlugin } from '#app'

export default defineNuxtPlugin(nuxtApp => {

  const vuetify = createVuetify({

    components,

    directives,

  })

  nuxtApp.vueApp.use(vuetify)

})

　　　④　「nuxt.config.ts」を開き、Vuetify3の設定を追加する。

export default defineNuxtConfig({

  typescript: { strict: true },

  css: ['vuetify/lib/styles/main.sass'],

    build: {

      transpile: ['vuetify'],

    },

    vite: {

      define: {

        'process.env.DEBUG': false,

      }

    }

})

**７．Vuetify3の確認**

　　　①　「app.vue」のソースを以下の通り変更する。

<template>

  <div>

    <v-btn>

      Button

    </v-btn>

  </div>

</template>

　　　②　ブラウザを開き、ボタンが表示されればOK！！！